

所管 テーマ	所属	意見	対応
総務 経済 常任 委員会 (子ども もた ちか らお 年寄 つり まで すべ ての 世代 に愛 され る 新 嵐山 スカ イパ ーク にお 寄り いま です べて の世 代に 愛さ れる)	芽 室 中 学 校	平日は、閑散としている。(レストランで食事をしている人もあまり見かけない)	
		キャンプ場に人を呼び込むためのチャレンジは理解するが、周りの環境整備も必要である。	
		集客のためには、見てくれも大事だがハード面の改修の必要性も重要である。	
		夏シーズンはほとんど利用していない。集客のための改革は必要と思う。	
		昔のキャンプ場が懐かしい。	
		トマムを意識した感じで、リフト券の割引もなく高さを感じる。見た目は綺麗だが、地元目線を感じることができない。リゾート化を目指しているのだろうか。外向けにはいいのだが、内向けのメリットがない。町民が離れていくのを危惧している。どこに目線を向けているのか。	
		リフトの整備も必要である。	
		ナイターが減ったのは残念である。	
		10数年ぶりに嵐山を利用した。パークゴルフ場、ドッグランが整備されているのを始めて知った。	
		足寄町の里見が丘公園には、ワクワクドームがあり子どもに特化した施設があり、口コミで人が集まっている。	
		子育てのころ嵐山を利用していた。嵐山の頂上から見る風景は素晴らしい。	
		宿泊は高い。その価値があるのか少々疑問である。	
		嵐山は通り道にない。嵐山を目指してみんなが利用する施設。そんな行きたくなる嵐山であって欲しい。	
		昔の嵐山とはかけ離れている。誰でも利用できるリーズナブルな方向を望みたい。	
		コロナ前は家族と2階のレストランと風呂を利用していた。	
		最近、おしゃれに変わっており、メニューが高級になって行きづらくなった。	
		軽食も変わり、庶民感覚から離れてしまった感じ。	
		(テナント)場所が変わって、買いにくく感じる。	
		わざわざ行って食べる目玉が一つでもあれば、それを目当てに行く。胃袋をつかめば良い。	
		昔のロッジのチャーシュー麺が美味しかった。	
昔の肉まんが美味しかった。			
温泉ではないが、家より大きく利用料も安くて良い。			
湯温が以前は熱かったのに、最近ぬるかったので残念。			
バギーなど料金が高い。30分で1人1万円では気軽に利用できない。			
パークゴルフコースが半分になり、つまらなくなったので行かなくなった。			

所管 テーマ	所属	意見	対応
総務経済常任委員会（子どもたちからパークにお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山）	芽室中学校	スキー授業がないので、子どもは経験したことがない。無料レンタルなどきっかけがあれば、やってみようと思う。	
		町内の子どもだけでもレンタル無料にならないか。一式全て揃えるのは高くて買えない。	
		回数券が高い。	
		ナイターが増えると、仕事帰りに気軽に行ける。	
		スキー場を持つ町として、経済源にするのなら、しやすい環境づくりが必要。	
		忠類ナウマンのそり大会のようなイベントが欲しい。	
		全体的に暗く、近くに行かないとわからない。遠くから見てもわかるように。	
		外向けばかりではなく、町民向けの改善があれば行きやすくなる。	
		町民還元が欲しい。	
		地元からの口コミは大事。	
	ワイン工場は町外がターゲットなのか。だとしたら町民は行かなくても良いとなる。		
	上美生小・中学校	どこに（観光、町民）重点を置いて改革を進めていくのが重要である。取り組んでいることをもっと発信してよい。	
		地元には改革プランの趣旨が伝わっていないのではないかと感じる。	
		対象者が「町民ファースト」から「すべての人」になった。町民あつての嵐山であり、税金を投じるならまずは町民の福利厚生を考えてほしい。	
		嵐山は必要だというが、町民はそれほど利用していないのではないか。	
		収支を考えると外部から人を呼んで経営を維持していくのは当然。町内の人だけでは維持できない。	
		コンセプトに「すべての世代に愛される嵐山」とあり、家族づれや若い世代が楽しんでいる様子が見受けられる。良いことである。	
		地元の人では気がつかない当たり前の自然に付加価値をつけて提供していくことはよい。	
		サイクルツーリズムなどの体験型観光は、地元理解や新たな発見があり、とても良い取り組み。	
		インバウンドがたくさん来ることをほんとうに望んでいるのか？マナーや習慣の違いがあることをしっかり理解した上で受け入れをすべき。	
		身近な場所で自然に触れ合える環境が整備され、キャンプ場はとても良くなった。	
		不便さを楽しむキャンプ場であってほしい。	
		キャンプ場は綺麗なおしゃれな場所がアピールされすぎている。	
		キャンプ場はゆっくり過ごせる場所であってほしい。	
		グランピングは新しい取り組みとして評価できる。	
		グランピングは今後継続するものなのか、疑問である。	
グランピングはトレンドを追いかけるのではなく、自然と親しむことに徹してほしい。			
グランピングの流行に左右されない整備をしてほしい。			

所管 テーマ	所属	意見	対応
総務経済常任委員会 (子どもたちからパークにお年寄りまですべての世代に愛される 新嵐山スカイパーク)	上美生小・中学校	ハイキングコースの草刈りが十分ではない。(雨山から下る道)木道も壊れている。修理をしてほしい。	
		パークゴルフ場が縮小され、コースも単調で、距離が短くつまらない。日頃からパークゴルフに親しんでいる人は満足しないだろう。	
		スキーチケットに町民割があると良い。	
		スキースクールは、スキー初心者に必要なである。	
		「スキーは生涯スポーツである」という社会教育の観点からスクール入校に対して助成があるとよい。	
		従業員の質を高めることでリピーターは増えてくる。見栄えを良くしても「人をもてなす」という姿勢がなければ、人はこない。	
		道の駅を創設し、連動して嵐山を盛り上げる。	
		日高山脈が国立公園化することで、嵐山を利用する人が増えるかもしれない。そうした人々を嵐山に呼び込む努力をしてほしい。	
		季節ごとに花壇など整備されていて、観光客も楽しめる場所である。リフトの下に花を咲かせて、リフトで山頂に登る。牧場に牛を放すのもいい。	
		タンクローリーで温泉を運ぶ。 サウナを外に作ってはどうか。	
	芽室西小学校	町P連の研修で夏のシーズンに嵐山に訪問した。グランピングなど“おしゃれ”な感じに変わったと感じたがどちらかと言うとターゲットは町民以外なのだと感じた。また、現在の改革については町民から賛否の声を聞いている。	
		旧キャンプ場のファンだった。再開を要望したい	
		展望台の景観をもっと活用したら良い。天空カフェの取り組みやナイタースキーの際の夜景は素晴らしい	
		レストランメニューの変更はオシャレになり過ぎて近寄り難い感じがした	
		施設利用よりも自然観察の会などでフィールドを利用している。これからの開発で野草や、かつては観察できたというホタルなど自然環境への影響を危惧している。	
		年に一度子どもたちとおにぎりを持って登山している。新たな施設改修は望んでいない	
		さまざまな声を耳にするが、たくさんの町民の想いが詰まった施設なのだとすることがわかる。町からの発信に(S N S、広報紙)こうした一人ひとりの想いを汲み取る内容があると今後の改革を温かい気持ちで見守れる。	
		嵐山に思い入れのある町民が一堂に介して話し合う場が必要だと考える。話し合いが足りていない。	
		スキースクールに長年子どもが通っていた。おやきが食べられなくなって残念だ	

所管 テーマ	所属	意見	対応
総務経済常任委員会（子ども世代について愛さ	芽室西小学校	これまで夏場の利用はしていなかったし、子どもたちが夏場に遊べる施設があるのかも情報を持っていなかった。これから設置するのであれば、アスレチックや水場、ふわふわドームなどは子どもに人気だと思う	
		サイクルツーリズムは良い取り組みだと思う	
		ワイナリーも嵐山の施設見学の際に一緒に見られると良い	
		成人した子どもたちも幼稚園時代、嵐山で毎月活動をしていたので思い出がたくさんある。旧キャンプ場も子どもとよく利用していた。	
		展望台からの景観はThe北海道で誇れる場所。大きなアクションを起こせば全国から注目されるはず。	
		町民の声をまとめるのは議会の役目だと思うので期待している	
		新しい施設を開発するよりも今ある資源の活用を考えた方が良いと思う。嵐山には社会教育施設としての大きな役割もあると思う。	
		タブレット端末は、これから社会へ巣立つ子どもたちにとって、教育機器の整備は必要である。	
		タブレット端末整備から、今後どのように子どもに還元していくのかが、課題である。	
		タブレット端末で子どもがどんな画面をみているのか。不安もある。コントロールも必要なのかなと思う。	
（子どもたちの学習環境整備について）	芽室中学校	西中の部活動が限定されている話を聞く。（同じ中学校なのに興味のある部活動に参加できない状況）	
		スクールバスの停留場(6線13号)のスペースが狭い。車の通行も多く、安全性に問題である。	
		覚えることが多くなり、子どもたちも大変かと思う。	
		子どもたちも色々な場面で活躍している。どの様に子どもたちを今後育てていくか、様々な変化にいかに対応させていくことができるのか、大変重要な側面と感じている。	
		タブレット端末で視力が悪くなるのが心配。	
		タブレット端末で授業中、子どもが何を見てるかわからない。	
		タブレット端末をどこまで制限するのか、ルール設定と平準化が難しい。	
		部活動に親が介入しすぎる。	
		子どもがしたいスポーツをのびのびさせてあげたい。	
		他学校と合同にしなければ継続できない。廃部にすると復活が難しい。	
		子どもが重い荷物を背負って学校に通っている。タブレット(デジタル教科書)になれば軽量化され、子どもの負担軽減になる。	
		ICTはいまやかかせないもの。社会に出て、困らないためにも子どもの頃からしっかり教育してほしい。	
		タブレット端末はコミュニケーションがうまく取れない子どもの声を聞くことができる。	
		・上 中 美 生 校 小	

所管 テーマ	所属	意見	対応
(子どもたちの学習環境整備について)	上美生小・中学校	ICTの活用により、学校に行くことができない子どもの学びの保障が実現できる。そうした体制を早く整えてほしい。	
		コミュニケーション能力の低下が不安である。	
		デジタルになると、子どもがどんな授業を受けていて、なににつまずいているのか見えにくい。	
		家庭にタブレットを持ち帰る際のセキュリティ対策をしっかりとしてほしい。	
		ペーパーレスのメリットばかりではなく、デジタル教科書のデメリットの方が心配だ。	
		アナログの行事が近年減っている。全校キャンプで、上の子どもが下の子どもの面倒をみる機会がない。少子化もあり、コミュニケーションが薄れていると感じる。	
		親のICT環境と子どもの使い方に影響する。ICTに日頃から接している親は、なにがどこまで危険なのかわかるが、不得手な親はわからない。	
		先生のICT機器の得手不得手がある。まずは慣れてほしい。	
		近年予想もつかない災害が起こる。子どもたちに災害から身を守る教育をしてほしい。	
	芽室西小学校	12月に文教懇談会の研修でGIGAスクール構想について研修会を行ったが、各学校によって進捗の差があると感じた。農村地域では今後通信環境が改善されることは承知している。	
		町内P T Aで行ったG I G Aに関する意見交換会で出された項目を共有したい	
		春から家庭に端末を持ち帰ることを踏まえると、共通の使い方マニュアルが欲しいと感じた。親が使い方を把握できていない状況がある。動画などでの説明があるとわかりやすい	
		デジタル活用について一部不安の声もある。学齢に見合った使い方、紙との両立(入試等に備えた長文読解力がデジタルで養えるのかが不安)、子どもたちのコミュニケーションツールの多様化に家庭が対応しきれていない状況がある。リテラシー教育など、子どもも大人もスキルアップの場が欲しい	
		中学生になると先生以上のスキルを持つ子が増えてくるのではないかと(親も学ぶ機会が必要)	
		子どもから「給食の時間を長くしてほしい」とここに来る前に要望されてきた。おいしい給食だが時間がなくてお変わりができないのが残念とのこと。時間割の工夫で給食時間の延長は不可能か？東京に住む親戚の子の給食時間が長くなったと聞いていたので確認したかった。	カリキュラムの都合上、なかなか難しい。昼休みの工面でなんとかなるかもしれないが手続きは煩雑である。学年が上がると短時間で食べ終わられる等にはなるが時間が短いことは教職員も認識している(学校から)
		(給食時間のことも含め)芽室町には子どもの権利に関する条例があるので、ぜひ子どもの声を聴く場を持ってほしい。	
		コロナ前、中学生は東京に行ったと聞いている。果たして都会でお買い物をしてることが、芽室町立学校の修学旅行として良いのかどうか疑問がある。町として、子どもたちに学び取ってほしい意志が伝わる修学旅行を我が子には経験させたい。	

所管 テーマ	所属	意見	対応
		雨天時や冬季間、子どもの遊び場が無い	町内のかっこうやねんりんなどの社会教育施設を活用してはどうか(議員から)
(議会運営委員会 定数・報酬)	芽室西小学校	議員の定数・報酬については、議会での議論の結果に委ねたい	
		議会のことはよく知らないが議員の数を減らす必要は感じていない。報酬増も町民のためになるなら良いと思う	
		議員達は現状の活動量に対する今の処遇をどう感じているのか。どのような活動をしているのか。町に何か要求がある際には、議会に届けるという選択肢もあるのだと感じたが、議員が多忙であるなら難しいのかと思い、個々の議員活動について質問してみた	16人それぞれが持つ背景が異なるので多様な声を反映できる。自分が持つバックグラウンドとは異なる団体とも意見を交わしたい気持ちは持っているのでぜひお声がけをしてほしい(議員から) 声を聴くツールは対面以外にも持っておりコロナ禍でも活動できているので、遠慮なく声を届けてほしい(議員から)

※書面による意見提出

2. 町政・まちづくりへのご要望・ご意見など

(1) について

今までよりもおしゃやかな内装、メニュー設定となり、たくさんのお客や町外の利用者にアピールすることは、新鮮であり、それにより、利用者が増えることは、町民としてうれしい事と思います。一方で、本町の貴重な財産でもあるので町民がより利用しやすい工夫があると良いと思います。子どもたちからお年寄りまで…全ての世代に愛されるため、町民の特権として割引きや優遇等、バラエティー豊かなメニューや料金設定があると、より利用しやすく、利用意欲を増やすのではないかと感じます。

個人的には、嵐山側としても茅室町の誇り、財産であるという自覚を持ち、茅室町民のための経営や工夫や施設運営を行っていただけたら、もっと愛される嵐山になるのではないかと感じます。

(2) について

時代の流れを敏感に察知し、その流れに順応しながら進めたいと思います。校区についても選択可能地域も町民の声を聞き入れながら柔軟に対応していただけたらと思います。又、ICT教育について、今後ここからの未来、必要不可欠だと思います。メリットとデメリットを先生も生徒も保護者も町もきちんと理解し丁寧に対応することが大切だと思います。そのような機会を提案していただきたいとも思っています。CSIについては、もっと周知して参加しやすい工夫が必要かと思っています。PTAODOGへの声かけも重要かなと感じています。